

令和7年度 横浜市障害児施設等従事者向け虐待防止研修 募集案内

1 目的

障害児施設等従事者による虐待防止を目的として、施設の要となる「管理者」および「児童発達支援管理責任者」「虐待防止担当職員（直接支援員でも可）」を対象とした研修を実施します。

※当研修の受講は任意です（必須受講ではありません）。

2 日程・会場・定員 ※2日間で実施（1日目は共通、2日目は対象者別）

(1) 管理者向け研修(定員 50名)

1日目：令和7年9月3日(水)9時00分～16時00分

【会場】ビジョンセンター横浜（西口）

2日目：令和7年11月5日(水)9時00分～16時00分

【会場】ビジョンセンター横浜（西口）

(2) 児童発達支援管理責任者向け研修(定員 50名)

1日目：令和7年9月3日(水)9時00分～16時00分

【会場】ビジョンセンター横浜（西口）

2日目：令和7年11月18日(火)9時00分～16時00分

【会場】ビジョンセンター横浜（西口）

※全日程とも8時30分より受付を開始いたします。

3 研修カリキュラム

P. 3～5 「令和7年度 横浜市障害児施設等従事者向け虐待防止研修カリキュラム」参照

4 受講対象者

次の要件を全て満たす者

- (1) 横浜市内の障害児福祉施設（※2）等の管理者または児童発達支援管理責任者、虐待防止担当職員（直接支援員可）
- (2) 2日間のすべての日程を受講できる者

※2 障害児通所支援事業（児童発達支援、放課後等デイサービス、保育所等訪問支援、居宅訪問型児童発達支援）、福祉型・医療型障害児入所施設

5 受講者の申込

(1) 申込方法

下記のURLからお申し込みください。郵送や電話でのお申し込みは不可です。

<https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLSdoPXZ7IWG0ulu7cEXZsqrbWLI8RPX3toUoY-EwT1xTPhpZHA/viewform?usp=header>

- (2) 申込期限
令和7年 7月 30日(水) 17:00まで

6 受講者の決定

- (1) 定員を大幅に上回った場合は、推薦された方の中から、施設内優先順位を勘案し、申込の内容を審査した上で決定します(先着順ではありません)。
(2) 受講決定については 下記の期日までにメールで通知します。
令和7年 8月 18日(月) 17:00まで

7 受講料

無料(※会場までの交通費、昼食、その他については受講者負担)

8 感染症対策

- (1) 研修会場に入室される方は、極力マスクを着用ください
(2) 体調不良の場合は、受講をお断りする可能性もございますので、ご了承ください。
(3) 飲み物は、各自でキャップのついた容器で会場にご持参ください。
(4) 研修日1週間以内に発熱、咳、息苦しさ、倦怠感等、体調面で違和感や変化がある場合は参加をお控えください。欠席をする場合は、ご連絡ください。

9 その他

- (1) 通勤時間帯による混雑や天候等を考慮の上、余裕を持って来場してください。
(2) 特定の駐車場はありませんので、来場の際は公共交通機関を利用してください。
(3) 受講にあたり手話通訳等が必要な方は希望者確認書類の所定欄に記載してください。
(4) 昼食の用意はありませんので、各自で手配してください。
(5) 会場内での飲食は、各会場のルールに従ってください。
ビジョンセンター横浜(西口):会議室内の飲食可/ゴミは各自で持ち帰り
(6) 感染症の流行などが発生した場合、中止や開催地の変更が発生する可能性があります。

10 研修に関する問合せ先

(本研修の申込手続き・実施等に関する問合せ先)

学校法人産業能率大学 総合研究所 東日本事業部 東日本普及事業1課
〒100-0005 東京都千代田区丸の内 1-7-12 サピアタワー9階
電話 03(3282)1112
MAIL 7mic@hj.sanno.ac.jp
研修事務局 吉富・関根

(本研修に関する問合せ先)

横浜市こども青少年局こども福祉保健部障害児福祉保健課
〒231-0005 横浜市中区本町6-50-10
電話 045(671)4274
MAIL kd-syogaijikensyu@city.yokohama.lg.jp
菅原・栗林・丹羽

令和7年度 横浜市障害児施設等従事者向け虐待防止研修カリキュラム（予定）

(1) 管理者・児童発達支援管理責任者等共通カリキュラム

1 日目		
時間	概要	講師
オリエンテーション		
9:00 9:15	開講にあたって 受講者自己紹介（グループごと）	学校法人産業能率大学 運営事務局
1. 横浜市における障害児施設虐待の現状等		
9:15 9:20	横浜市における障害児施設虐待の実態と市としての取り組み	横浜市
2. 障害者虐待防止法の理解		
9:20 10:50	<ul style="list-style-type: none">虐待とはどのような行為なのかについて、「障害者虐待防止法」の定義などについて理解を深める。障害児施設等で虐待が発生した場合の児童福祉法に基づいた対応を理解する。障害児施設等での虐待事例、判例を通して虐待発生の構造を、講義とグループワークで学ぶ。	法律事務所インテグリティ 弁護士 徳田 暁
休憩（10 分）		
3. 虐待防止のための取り組みを学ぶ		
11:00 11:45	<ul style="list-style-type: none">不適切な支援もグレーゾーンとなり、虐待の芽になりうる。支援者として、どのように支援に取り組む必要があるのか。	横浜市北部地域療育センター 課長 齊藤 共代
昼食休憩（60 分）		
3. 虐待防止のための取り組みを学ぶ（続き）		
12:45 13:30	<ul style="list-style-type: none">理念浸透、採用、人材育成、日報管理などの取り組み例から虐待防止の体制や取り組みについて学ぶ。日常の支援で虐待につながる行為について確認し、改善が必要な点について確認・共有をする。	横浜市北部地域療育センター 課長 齊藤 共代
休憩（10 分）		
4. 虐待の早期発見、発生時の対応等		
13:40 14:40	<ul style="list-style-type: none">虐待の芽となりうる職員の問題行動を察知する。早期通報の重要性を知る。	湘南福祉臨床研究所所長 市川 和彦
休憩（10 分）		
4. 虐待の早期発見、発生時の対応等（続き）		
14:50 15:50	<ul style="list-style-type: none">虐待が発生した場合の対応、役割を知る（従業員から相談を受けたら／気になる職員がいたときの対応方法）。	湘南福祉臨床研究所所長 市川 和彦
まとめ		
15:50 16:00	<ul style="list-style-type: none">次回研修のご案内アンケート入力	学校法人産業能率大学 運営事務局

(2)管理者向けカリキュラム

2 日目		
時間	概要	講師
オリエンテーション		
9:00 9:10	開講にあたって 受講者自己紹介（グループごと）	学校法人産業能率大学 運営事務局
1. 管理者としての役割		
9:10 10:40	<ul style="list-style-type: none">・管理者としての役割を理解する。・権利侵害を侵し、それに気づかずに虐待へとエスカレートすることに対しての対策を検討する。・企業理念や支援方針の重要性を認識する。・知識の欠如によって発生する虐待の構造を理解する。	社会福祉法人恵和法人本部 上條 健太郎
休憩（10 分）		
2. 職場風土の改善		
10:50 11:50	<ul style="list-style-type: none">・虐待防止における職場風土の重要性を知る。・施設での取り組み事例を紹介する。	社会福祉法人恵和法人本部 上條 健太郎
昼食休憩（60 分）		
2. 職場風土の改善（続き）		
12:50 14:20	<ul style="list-style-type: none">・軽度の虐待が発生している場合、周囲の職員は気づいていたり、あるいは虐待と認識していない場合もある。これらの風土を管理者としてどう改善していくのかを学ぶ。・職場に存在する暗黙の「職場の掟」を排除する。・虐待がなぜ発生してしまったかという状況だけでなく、なぜ周囲が助けられなかったかについて検討する。	株式会社縁グループ 篠田 貴行
休憩（10 分）		
3. 管理者としての職場構想		
14:30 15:55	<ul style="list-style-type: none">・施設の存在意義は何かを浸透させる。・理念に沿った職場運営を実現する。・情報共有の重要性を知る。・報告書、日報、連絡帳に関する共有化の仕組みづくりを行う。・募集方法、採用、採用基準を明確化する。	学校法人産業能率大学 経営管理研究所 マネジメント研究センター長 主席研究員 総合研究所教授 原 義忠
まとめ		
15:55 16:00	<ul style="list-style-type: none">・アンケート入力	学校法人産業能率大学 運営事務局

(3) 児童発達支援管理責任者向けカリキュラム

2 日目		
時間	概要	講師
オリエンテーション		
9:00 9:10	開講にあたって 受講者自己紹介（グループごと）	学校法人産業能率大学 運営事務局
1. 児童発達支援管理責任者の役割		
9:10 10:10	<ul style="list-style-type: none">・児童一人ひとりの状態や課題をつかむことの重要性を理解する。・現場職員への指導や助言を行う。・児童の心理面や発達面の課題把握と、家族のニーズを把握する。・保護者との関係性のありかたを理解する。	横浜市総合リハビリテーションセンター 通園課 神田 由美
休憩（10 分）		
2. 障害特性の理解と地域連携の大切さ		
10:20 11:50	<ul style="list-style-type: none">・障害特性の理解の重要性を理解する。・何か困ったことがあったときに、事業所で抱え込むのではなく関係機関との連携の重要性を知る。・児童や保護者の課題、ニーズ、要望などを正確に把握する。・個別支援計画の重要性を認識する。・地域移行の大切さ。	合同会社 りん りん相談支援事業所 勝俣 恵子
昼食休憩（60 分）		
3. 意思決定の重要性		
12:50 14:50	<ul style="list-style-type: none">・意思決定の重要性を理解する。・意思決定を尊重するための取り組みとは。	淑徳大学副学長・教授 社会福祉士 鈴木 敏彦
休憩（10 分）		
4. 支援提供のプロセス管理		
15:00 15:55	<ul style="list-style-type: none">・支援提供のプロセス全体に児童発達支援管理責任者がどのように関わるかを理解する。	学校法人産業能率大学 経営管理研究所 マネジメント研究センター長 主席研究員 総合研究所教授 原 義忠
まとめ		
15:55 16:00	<ul style="list-style-type: none">・アンケート入力	学校法人産業能率大学 運営事務局

ビジョンセンター横浜（西口） 会場案内

■住所

〒220-0004 神奈川県横浜市西区北幸 2-5-15 プレミア横浜西口ビル
T E L : 03-6262-3553

■交通機関

- ①JR 東海道線・JR 京浜東北線・JR 横須賀・総武線「横浜駅」西口より
徒歩：約 6 分
- ②横浜市営地下鉄「横浜駅」より
徒歩：約 3 分
- ③東急東横線・みなとみらい線「横浜駅」より
徒歩：約 6 分
- ④相模鉄道線「横浜駅」をご利用の場合
徒歩：約 5 分
- ⑤京浜急行線をご利用の場合
徒歩：約 6 分

